

ゲノムから見た 沖縄の人類史



(左) 貝塚人頭骨 (右) 現代人頭骨

2025.

4.19 土

入場
無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない
場合があります。予めご了承ください。

講師 木村 亮介 氏
(琉球大学大学院 医学研究科 教授)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3階 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名、無料)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

琉球列島は海によって周辺地域から隔絶されており、独自の歴史・文化を有します。現在、ゲノムデータの蓄積によって、琉球列島の各島々におけるヒトの集団形成史の詳細が明らかにされつつあります。しかし、過去から現在にかけての集団の遺伝的繋がりについては未解明のところも多く、さらなる古人骨ゲノムの解析が待たれます。

本講座では、ゲノム解析から読み解く沖縄の人類史と、ヒトの移動と文化の伝達の詳細な解明によってもたらされる、考古学研究の新たな視座についてお話しします。



【講師】木村 亮介 (きむら りょうすけ) 琉球大学大学院
医学研究科 教授

琉球大学大学院医学研究科 教授。東京大学大学院理学系研究科修了。2009年より琉球大学赴任、2022年より現職。専門は自然人類学。遺伝子と表現型の両面から、琉球列島の人類史解明に取り組んでいる。

